



®環境省
エコアクション 21
認証番号 0006310

環境経営レポート



対象期間：2023年1月1日～2023年12月31日

発行日：2024年4月30日

丸美屋食品工業株式会社



❖ 目次

1	環境経営理念・環境経営方針	…	P 3
2	組織の概要	…	P 4
3	対象範囲	…	P 5
4	環境経営目標と実績	…	P 6
5	環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容（全社）	…	P 7
6	環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容（拠点別）	…	P10
7	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	…	P11
8	代表者による全体評価と見直し結果	…	P12
9	代表者による指示事項	…	P13
10	具体的な取組事例	…	P14

✧ 環境経営理念

私たちはいつの時代においても「おいしく、手軽に」「家庭の味わい」を皆様にお届けすることをモットーに、消費者の皆様の声に耳を傾けながら歩んでまいりました。

そして「新たな食文化を創造し、生活の豊かさの向上に寄与することで社会に貢献する」という企業理念のもと、家族の団らんや楽しい食卓づくりのお手伝いができるよう一層の努力を積み重ねてまいります。

それと同時に、地球の豊かな恵みを全ての人々が持続して享受し続けることができるよう、地球環境に配慮した企業活動を行い、環境負荷の低減に継続的に取り組んでいきます。

✧ 環境経営方針

- ① 省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量の削減を図る。
- ② 廃棄物の削減および再資源化率の向上を目指す。
- ③ 水資源使用量の削減を図る。
- ④ 食品廃棄物の発生抑制に努めると同時に、再資源化率の向上を目指す。
- ⑤ 環境に配慮した製品づくりへ取り組む。
- ⑥ 環境に配慮した調達を推進する。
- ⑦ 環境に係わる法律を遵守する。

この環境経営方針は、全社員に周知・徹底するとともに、一般に公表します。

2023年5月2日

丸美屋食品工業株式会社

代表取締役社長 阿部 豊太郎



事業者名	丸美屋食品工業株式会社	事業規模	売上高640億円 (2023年12月期)
代表者名	代表取締役社長 阿部 豊太郎	社員数	537名 (2023年12月現在)
設立	1951年4月	延床面積	19,896㎡ (2023年12月現在)
事業内容	ふりかけ、麻婆豆腐の素、釜めしの素、お茶漬け、レトルトカレーをはじめとする加工食品の製造および販売		

所在地	本社	東京都杉並区松庵1-15-18
	銀座オフィス	東京都中央区銀座1-19-13丸美屋ビル
	埼玉工場	埼玉県日高市旭ヶ丘995
	千葉営業所	千葉県千葉市中央区松波1-11-3 石橋松波ビル1階
	横浜営業所	神奈川県横浜市都筑区仲町台3-21-1
	札幌支店	北海道札幌市中央区南3条西10丁目1002-4 南三条スクエアビル5階
	仙台支店	宮城県仙台市青葉区本町2-1-8第一広瀬ビル6階
	大宮営業所	埼玉県さいたま市北区土呂町2-29-2高安ビル2階
	宇都宮営業所	栃木県宇都宮市宿郷2-10-19青木ビル3階
	新潟営業所	新潟県新潟市中央区姥ヶ山3-14-1
	長野営業所	長野県長野市平林2-16-22
	名古屋支店	愛知県名古屋市北区清水1-7-13萬城ビル
	金沢営業所	石川県野々市市堀内3-42
	静岡営業所	静岡県静岡市葵区沓谷5-3-1西野事務所2階
	大阪支店	大阪府大阪市鶴見区横堤3-6-56
	広島支店	広島県広島市中区大手町3-1-9 広島鯉城通りビル2階
	高松営業所	香川県高松市今里町1-9-8
	岡山営業所	岡山県岡山市北区今8-10-29チボリガ-デン101号
	福岡支店	福岡県福岡市博多区比恵町9-13山王日吉ビル2階
	鹿児島営業所	鹿児島県鹿児島市坂之上4-9-20
	沖縄事務所	沖縄県那覇市久米2-4-16大樹生命那覇ビル7階三井物産(株)那覇支店内
	国分寺サテライトオフィス	東京都国分寺市本町3-4-3国分寺本町ビル4階

連絡先	環境管理責任者 総務部 部長 宮崎 博史 ☎03-3332-8181	環境委員会事務局 総務部環境対策課 課長 野田 淳史 ☎03-3332-8181
-----	--	--

✿ 適用規格：エコアクション21

エコアクション21対象範囲

2010年12月
本社・銀座オフィス・埼玉工場：認証取得済

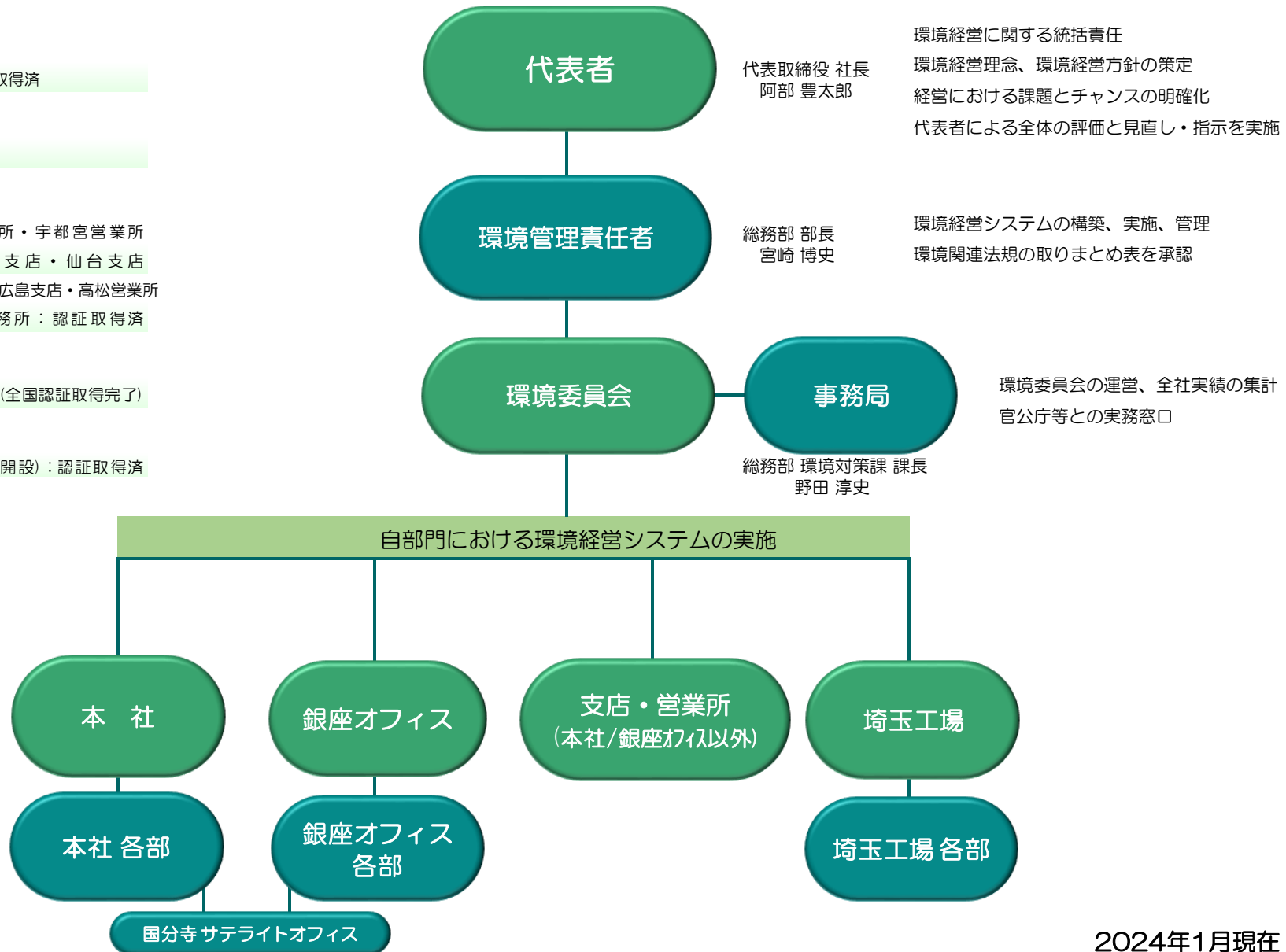
2012年12月
大阪支店：認証取得済

2014年12月
横浜営業所・千葉営業所・大宮営業所・宇都宮営業所
新潟営業所・長野営業所・札幌支店・仙台支店
名古屋支店・金沢営業所・静岡営業所・広島支店・高松営業所
福岡支店・鹿児島営業所・沖縄事務所：認証取得済

2018年12月
岡山営業所(2017年開設)：認証取得済(全国認証取得完了)

2022年12月
国分寺サテライトオフィス(2020年開設)：認証取得済

食品関連事業者向け 2017年版ガイドライン



4. 環境経営目標と実績（全社）

2023年 目標達成状況及び中期目標

評価基準：○目標達成 △前年達成 ×目標・前年ともに未達

項目	単位	2008年	2022年	2023年		目標比 前年比		評価	2024年	2025年	2026年
		基準年度	実績	目標	実績				中期目標	中期目標	中期目標
二酸化炭素排出量削減 *①	原単位 (t-CO2/億円)	9.9	4.9	4.8	4.5	目標比	93.8%	○	4.45	4.40	4.35
	排出量 (t-CO2)	3,903.3	2,848.5	-	2,910.7	原単位 前年比	91.8%		-	-	-
水使用量削減 *②	原単位 (㎡/億円)	211.2	86.3	86.0	81.3	目標比	94.5%	○	81.0	80.7	80.4
	使用量(㎡)	83,441	50,537	-	52,116	原単位 前年比	94.2%		-	-	-
廃棄物削減 *③ 再資源化率向上	排出量 (t)	532.7	643.0	640.0	669.6	目標比 前年比	104.1% 104.6%	×	640.0	635.0	630.0
	再資源化率 (%)	95.2	96.1	96.0	95.8	目標比 前年比	99.8% 99.7%	×	96.0	96.0	96.0
食品廃棄物削減 再資源化率向上	排出量 (t)	383.8	469.3	460.0	342.7	目標比 前年比	74.5% 73.0%	○	340.0	335.0	330.0
	再資源化率 (%)	44.5	92.0	95.0	92.0	目標比 前年比	96.8% 100.0%	×	95.0	95.0	95.0
製品への環境配慮	件	把握なし	4件	3件	7件	-		○	3件	3件	3件
エコアクション21運用		取組なし	受審済	中間審査	受審済	-		○	更新審査	中間審査	更新審査

*①二酸化炭素排出量 → 算出対象は事業所・工場の使用エネルギー、社用車ガソリンです。
原単位は二酸化炭素排出量(t-co2)÷売上高(億円)です。
尚、電力の二酸化炭素排出係数は2009年12月の環境省公表数値を使用しています。

本社・銀座オフィス・埼玉工場・横浜・千葉・大宮・宇都宮		0.418kg-CO2/kWh	
札幌	0.588kg-CO2/kWh	仙台・新潟	0.469kg-CO2/kWh
金沢	0.550kg-CO2/kWh	広島・岡山	0.674kg-CO2/kWh
大阪	0.355kg-CO2/kWh	静岡・名古屋・長野	0.455kg-CO2/kWh
高松	0.378kg-CO2/kWh	福岡・鹿児島	0.374kg-CO2/kWh

*②水使用量 → 原単位は水使用量(㎡)÷売上高(億円)です。
*③廃棄物 → 2008年の廃棄物(再資源化率含)は、本社・銀座オフィス・埼玉工場の合計数値です。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

12 つくる責任
つかう責任

13 気候変動に
具体的な対策を

5. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容（全社）

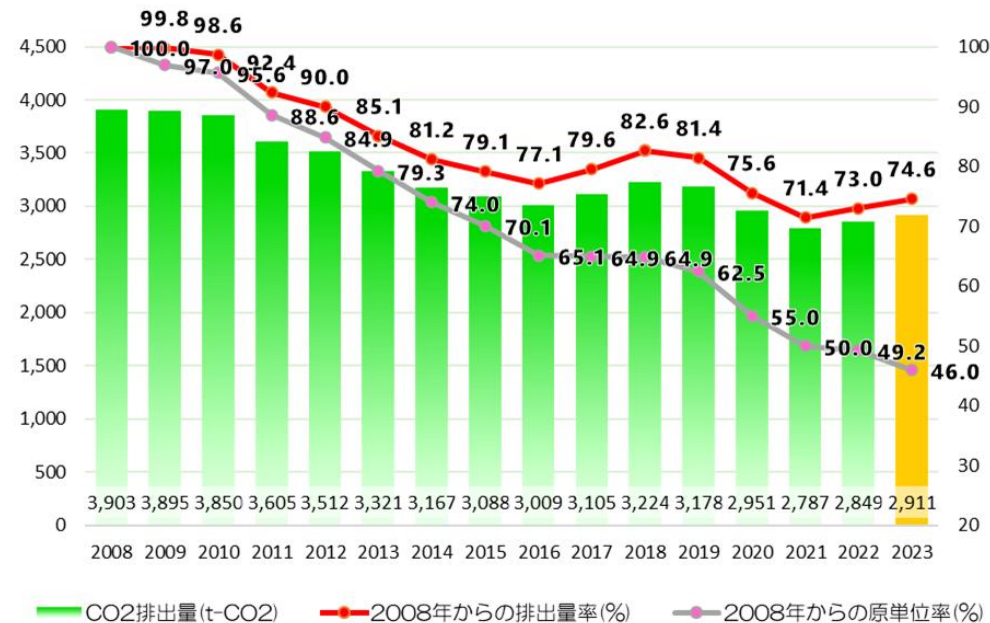
♣ 二酸化炭素排出量削減

売上高比二酸化炭素排出量を原単位とし目標設定しております。

当社の主な二酸化炭素排出源は、製造機械、工場やオフィスの空調設備、営業車等になります。

売上高による排出原単位では、2023年は原単位の基準年度（2008年）から46.0%と抑えることができました。前年の49.2%より-3.2と減少しました。

排出量については、2022年より増加傾向ですが、売上高による排出原単位は基準年度より減少を続けていることから二酸化炭素排出削減の効率は向上しています。次年度以降もエコドライブや節電等の呼びかけを継続し、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。



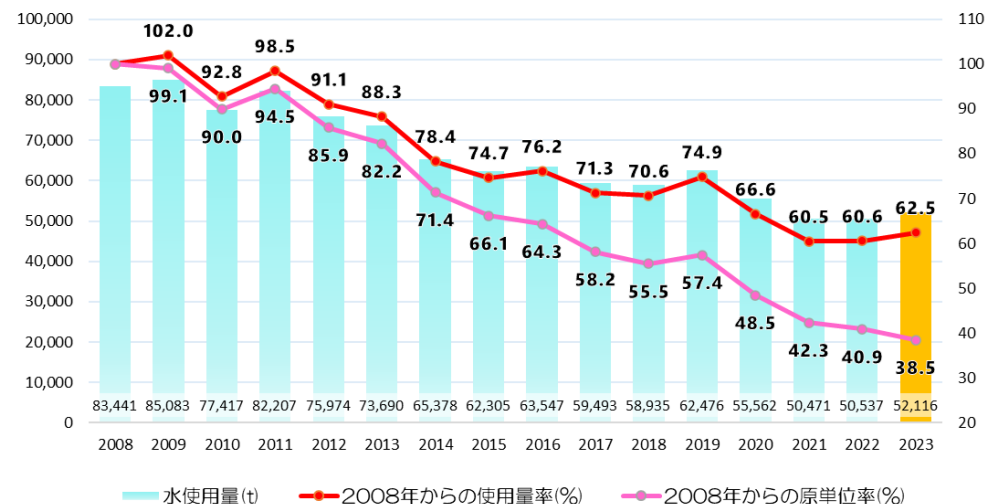
♣ 水使用量削減

売上高比水使用量を原単位とし目標設定しております。

当社では、商品を製造するための水やオフィスでの生活用水が主な使用量となります。

売上高による使用量原単位では、2023年は原単位の基準年度（2008年）から38.5%と抑えることができました。前年の40.9%より-2.4と減少しました。

使用量については、二酸化炭素排出量と同様に2022年より増加傾向ですが、売上高による使用量原単位は全体的に減少を続けています。次年度以降も節水の呼びかけを継続し、水使用量の削減に取り組みます。



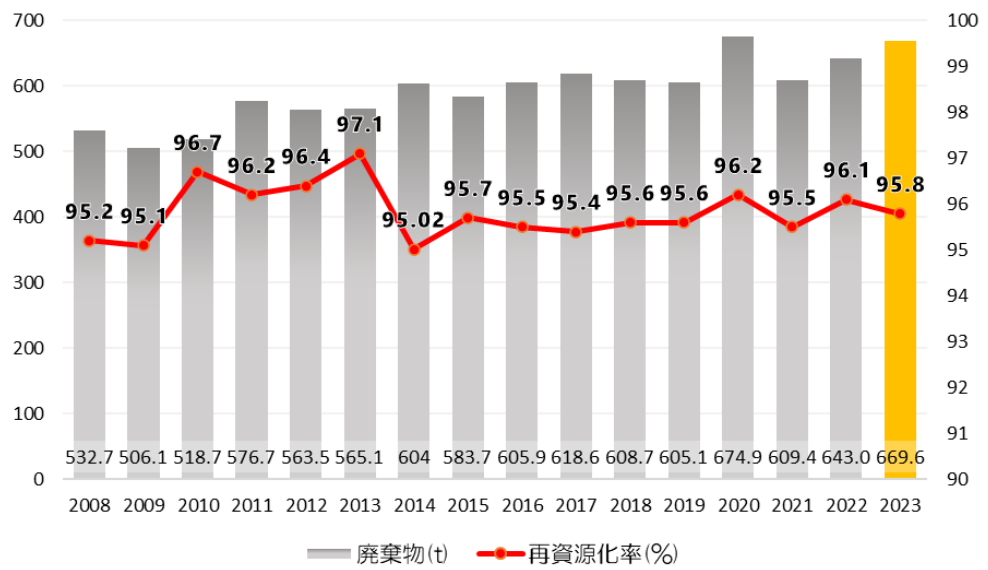
❖ 廃棄物削減及び再資源化率向上

当社の廃棄物は、原料が入っていた段ボール等の包材、従業員が飲んだペットボトル等のゴミ、使用出来なくなった設備等を指します。

廃棄物量は2020年の674.9 t が最も多くなっており、2021年は減少しましたが、2022年、2023年は増加傾向となっています。廃棄物が増加している原因は売上高増加に伴う生産量増加によるためです。

再資源化率は2013年が97.1%と最も高くなっており、その後は95～96%台となっています。2023年は再資源化率95.8%と例年並みとなりました。

生産量が増加し、廃棄物が増加しやすい状況ではありますが、2024年は、更に廃棄物削減と再資源化率向上に努めていきます。

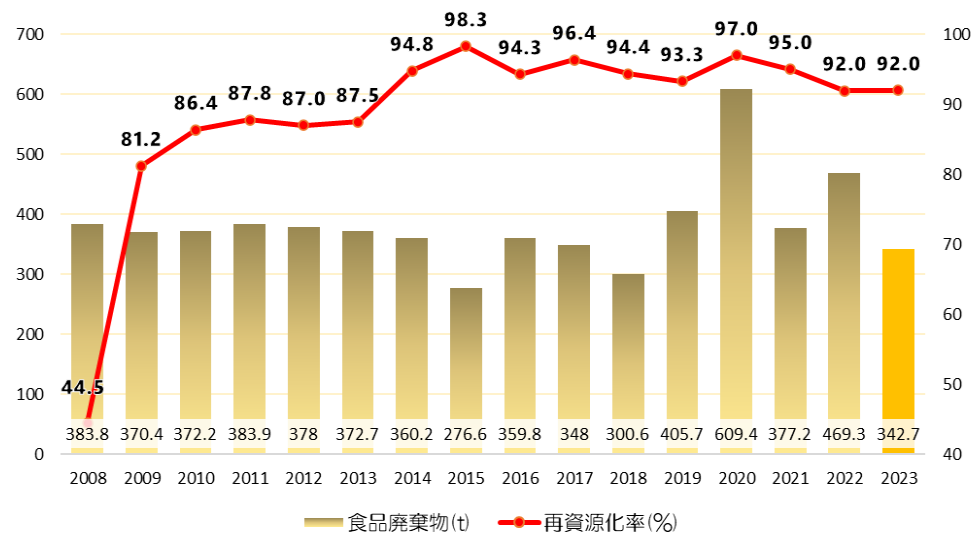


❖ 食品廃棄物削減及び再資源化率向上

当社の食品廃棄物は、主に売れ残った商品を廃棄したものとなります。

食品廃棄物量は、2020年に大幅に増加し609.4 t と最も食品廃棄物が多い年となりました。2022年も増加しましたが、2023年は342.7 t と大幅に減少しています。この排出量は過去3番目に少ない量となります。また、再資源化率は2021年から減少傾向となっています。

今後も商品破棄を抑制するために適切な量の製造、誤差が発生した時のリカバリー体制を高め、食品廃棄物の削減と再資源化率向上に努めていきます。



【 食品廃棄物発生量および再資源化等実施状況 】

発生量：342.7t 発生抑制量：267.5t

再生利用量：268.5t（メタン化:152.7t 肥料化:75.7t 飼料化:40.1t）

熱回収：21.0t 減量量(発酵)：5.4t

再生利用等の実施率(再資源化率)：92.0%

5. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容（全社）

♣ 製品への環境配慮

環境に配慮した対策を目標3件に対し7件 + 賞味期限の延長対応を実施し、目標達成となりました。

- ▶ 「ポケモンきりぬきのり」で化粧箱の設計見直しをおこない、化粧箱紙重量を約20%削減（軽量化）しました。
- ▶ 「てりマヨふりかけNP」「香味しそふりかけNP」で化粧箱の設計見直しをおこない、化粧箱紙重量を約10%削減（軽量化）しました。
- ▶ 「おもちゃシリーズ」で化粧箱の設計見直しをおこない、化粧箱紙重量を約20%削減（軽量化）しました。
- ▶ 「家族の海苔茶漬け」で外箱段ボールと化粧箱のサイズを小さくし、紙重量を各約9%削減しました。
- ▶ 「混ぜ込みわかめシリーズ」の外箱段ボールの設計見直しをおこない、紙重量を約10%削減しました。
- ▶ 「旨い！中華シリーズ」「おうち食堂シリーズ」合計6品で内袋パウチ材質の見直しをおこない、樹脂重量を約6%削減しました。
- ▶ 「おかゆ280g（スプーン付き）」のスプーンをバイオマス素材を含むスプーンに変更しました。
- ▶ 「うまいどんぶり麻婆丼」「業務用ふりかけ」3品の品質検証を重ね、賞味期限の延長を実施しました。

次年度も環境配慮した製品を3件以上発売、またはリニューアルを実施します。

また、引き続きサプライチェーン全体でのロス削減を目標に、製品の品質を保持した上での賞味期限延長の可能性を検証していきます。

♣ 環境マネジメントシステム

2023年9月に対象各拠点で環境内部監査を実施しました。

また、12月にエコアクション21中間審査を全社にて受審しました。

次年度も運用を継続し、更新審査を受審致します。

6. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容（拠点別）

対象	2023年度活動計画		取組結果	評価	次年度の取組
本社	二酸化炭素排出量削減	電気、ガス、ガソリンの削減のために掲示物による注意喚起を行いながら、100.9 t-CO2以下を目指します。	二酸化炭素排出量：101.0 t-CO2、目標を達成することが出来ましたが、前年比：99.1%と前年は下回ることが出来ました。	△	引き続き、電気、ガス、ガソリンの削減のために掲示物による注意喚起を行いながら、100.0 t-CO2以下を目指します。
	廃棄物削減と再資源化率向上	掲示物による注意喚起を行いながら、ペーパーレス化を進め、コピー用紙使用量を2,767kg以下を目指します。	コピー用紙使用量：2,070kg、目標を達成することができ、前年比：74.1%と前年よりも削減しました。	○	引き続き、掲示物による注意喚起を行いながら、ペーパーレス化を進め、コピー用紙使用量を2,049kg以下を目指します。
銀座オフィス	二酸化炭素排出量削減	小まめな節電、節電意識づけを行い、電気使用量153,905kWh 未滿を目指します。	電気の使用量：157,090 kWh、目標を達成することができず、前年比：101.0%と前年より排出量も増加しました。	×	引き続き小まめな節電、節電意識づけを行うと同時に電気使用量155,519kWh 未滿を目指します。
	廃棄物削減と再資源化率向上	テナントビルとの定期的な情報交換や分別やりサイクル等の提案を行い、廃棄物量の再資源化率63.6%以上を目指します。	再資源化率：61.7%、目標を達成することが出来ず、前年比：98.7%と前年よりも再資源化率が下がってしまいました。	×	引き続き、テナントビルとの定期的な情報交換や分別やりサイクル等の提案を行い、廃棄物量の再資源化率62.6%以上を目指します。
		小まめな仕入れチェックを行い、ペーパーレス化を進め、コピー用紙使用量を2,432Kg未滿を目指します。	コピー用紙使用量：1,819kg、目標を達成することで、前年比：74.0.%と前年よりも削減しました。	○	引き続き、小まめな仕入れチェックを行い、ペーパーレス化を進め、コピー用紙使用量を1,801Kg未滿を目指します。
埼玉工場	二酸化炭素排出量削減	省エネ設備の導入、更新を行い、二酸化炭素排出量生産重量比(原単位)0.143以下を目指します。	生産重量比使用量(原単位)：0.138、目標を達成することができ、原単位前年比97.2%と前年よりも減少しました。	○	従来の省エネ対応を続ける共に電力に関しては、新たに電力監視システムを用いて生産重量比使用量(原単位)0.137を目指します。
	水使用量削減	節水の啓発を行い、特に水使用量が多いラインで注意喚起を行います。水使用量生産重量比(原単位)2.88以下を目指します。	生産重量比使用量(原単位)：2.72、目標を達成することができ、原単位前年比：97.6%と前年よりも減少しました。	○	引き続き、節水啓発を行い（原単位）2.69を目指します。
	廃棄物削減と再資源化率向上	毎月の会議を通じて実績確認を行い、廃棄物量516.06 t 未滿、再資源化率100%維持を目指します。	廃棄物量は568.66t、目標を達成することができず、前年比107.4%と前年よりも廃棄物量がが増加しました。	×	引き続き廃棄物削減、再資源化率向上の啓蒙活動を行い、廃棄量532.6t未滿に抑え、再資源化率は100%維持を目指します。
			再資源化率は100%を維持でき、達成しました。	○	
	食品廃棄物削減と再資源化率向上	毎月の会議を通じて実績確認を行い、食品廃棄物量103.8 t 未滿、再資源化率95.8%以上を目指します。	食品廃棄物量は94.3t、目標を達成することが出来ましたが、前年比111.5%と前年より大幅に食品廃棄物の量が増えました。	○	引き続き食品廃棄物削減、再資源化率向上の啓蒙活動を行い、廃棄量100.6t未滿に抑え、再資源化率は100%維持を目指します。
			再資源化率は100%となり達成しました。	○	
支店営業所	二酸化炭素排出量削減	エコドライブを徹底し、ガソリン使用量を70,439ℓ以下を目指します。	ガソリン使用量は73,612ℓ、目標を達成することが出来ず、前年比101.4%と前年よりも使用量が増えました。	×	移動活動時はエコドライブを徹底し、72,364ℓ以下を目指します。

環境関連法規名	対象物	要求事項	担当拠点	遵守状況
大気汚染防止法	ボイラー	新規設置時・変更時の知事への届出	埼玉工場	該当なし
		事故発生時知事へ報告		該当なし
振動規制法	コンプレッサ	新規設置時・変更時の市長への届出	埼玉工場	遵守
騒音規制法	シロッコファン	新規設置時・変更時の市長への届出	埼玉工場	該当なし
水質汚濁防止法	排水設備	新規設置時・変更時の知事への届出	埼玉工場	該当なし
		事故発生時知事へ報告		該当なし
		排出時汚染状態測定、測定記録の保存		遵守
浄化槽法	浄化槽	新規設置時・変更時の知事への届出	埼玉工場	該当なし
		使用開始時・廃止時の知事への届出		該当なし
		保守点検・清掃の実施		遵守
		定期検査(法定水質検査)の受検		遵守
省エネルギー法	エネルギー使用設備	エネルギー管理員の選任	全社	遵守
		中長期計画書・定期報告書の提出		遵守
		建物新築・増改築時の省エネ措置の届出		遵守
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物	産業廃棄物処理業者との契約確認	全社	遵守
		マニフェストの交付・管理		遵守
		廃棄物保管の基準(表示)		遵守
		産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出		遵守
容器包装リサイクル法	特定容器包装資材	再商品化義務量の報告	全社	遵守
		再商品化実施委託料の支払い		遵守
食品リサイクル法	食品廃棄物	定期報告書の提出	全社	遵守
家電リサイクル法	特定家電製品	発生した場合の適正処理	全社	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品	簡易点検・定期点検の実施、点検記録の保存	全社	遵守
埼玉県地球温暖化対策推進条例	エネルギー使用設備	地球温暖化対策推進者の選任	埼玉工場 大宮営業所	遵守
		地球温暖化対策計画書・実施状況報告書の提出		遵守
埼玉県生活環境保全条例	地下水	地下水採取量の知事への報告	埼玉工場	遵守
PCB特別措置法	低濃度PCB機器・廃棄物	保管・処分状況の報告	全社	遵守
		期間内の処分義務		遵守
工場立地法	環境施設	敷地面積に対する緑地面積の割合 20%以上	埼玉工場	遵守
		敷地面積に対する環境施設面積の割合(緑地を含む) 25%以上		遵守

環境マネジメントシステムの導入、運用開始から13年が経過しました。2021年からは2017年版ガイドライン（食品関連事業者向け）での運用を開始し、2023年にエコアクション21の中間審査を受審しました。引き続き、地球環境に配慮した企業活動に取り組んでいきます。

代表取締役社長 阿部 豊太郎

2023年は、コロナ禍が明けて経済活動がコロナ禍前に戻りつつある年でした。そのため、2023年は前年に比べて多くのエネルギー等を使用することになり、削減分野で苦戦を強いられる年となりました。2024年は更に経済活動の活発化を見込んでおり、気を引き締めて臨みたいと考えています。

2024年は、エコアクション21の更新審査の受審がメインとなりますので、確実に活動計画を遂行していきます。

また、環境経営の目標達成に向けては、全社員が更なる意識向上を図り、確実に環境負荷を低減するよう、継続して活動していきます。

環境管理責任者

総務部長

宮崎 博史

✿ 環境経営方針や中期環境経営目標の変更の必要性

- 環境経営方針 変更の必要はありません。
- 中期目標 2023年度の実績をもとに見直しを指示しました。

✿ 次年度(2024年度)の取組

- 環境負荷低減のため、二酸化炭素排出量の削減、廃棄物の削減、食品廃棄物の削減、各種エネルギー・水使用量の削減に取り組みます。
- 環境に配慮した製品づくりへ取り組みます。
- 環境配慮活動の活性化を図るため、社内環境教育を推進し環境マネジメントシステムを強化します。

10. 具体的な取組事例

実施事項

環境に配慮した製品づくり

実施内容

「ポケモンきりぬきのり」で化粧箱の設計見直しをおこない、化粧箱紙重量を約20%削減（軽量化）

実施拠点/実施年度

全社/2023年度



実施事項

環境に配慮した製品づくり

実施内容

「てりマヨふりかけNP」「香味しそふりかけNP」で化粧箱の設計見直しをおこない、化粧箱紙重量を約10%削減（軽量化）

実施拠点/実施年度

全社/2023年度



実施事項

環境に配慮した製品づくり

実施内容

「おもち亭シリーズ」で化粧箱の設計見直しをおこない、化粧箱紙重量を約20%削減（軽量化）

実施拠点/実施年度

全社/2023年度



実施事項

環境に配慮した製品づくり

実施内容

「家族の海苔茶漬け」で外箱段ボールと化粧箱のサイズを小さくし、紙重量を各約9%削減

実施拠点/実施年度

全社/2023年度



実施事項

環境に配慮した製品づくり

実施内容

「おかゆ280g（スプーン付き）」のスプーンをバイオマス素材を含むスプーンに変更

実施拠点/実施年度

全社/2023年度



実施事項

環境に配慮した製品づくり

実施内容

「混ぜ込みわかめシリーズ」の外箱段ボールの設計見直しをおこない、紙重量を約10%削減

実施拠点/実施年度

全社/2023年度



実施事項

環境に配慮した製品づくり

実施内容

「旨い！中華シリーズ」「おうち食堂シリーズ」合計6品で内袋パウチ材質の見直しをおこない、樹脂重量を約6%削減

実施拠点/実施年度

全社/2023年度

